

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス ニコニコ | | 公表日 | | 2025年3月20日 | |
|---------|----|---|----|-----|--|------------------------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 0 | 昼食などは人数に合わせ机を出し1人1人のスペースを確保している活動では机を寄せ広々としたスペースを確保している。学習室と訓練室があり集中して学習に取り組むスペースと活動を楽しむスペースが分かれている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | 0 | 利用人数に対し配置は適切。送迎に出る職員、待機する職員とバランス良く配置している。毎日、システムで確認と管理者が確認しダブルチェックを行っている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | 0 | 室内に入るまで階段がありバリアフリーにはなっていないが手すりは取り付けられている。訓練室はマットが敷いてあり転倒時の怪我のリスクが軽減されている。また、机の角やロッカー、棚の角にはカバーを付けケガ防止を行っている。 | 今後、バリアフリー化が必要な箇所は随時改善を行って行く。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 1日の最後に職員が掃除を行っている。テーブル、学習室等はきちんと消毒したり空気清浄機等も設置している。定期的にマットも拭き上げている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 0 | 気持ちが不安定になった際は職員が付き添い静かな場所で過ごす空間がある。個別で集中して学習をして貰う児童に別の部屋を設置している。集中して取り組めるよう別室での学習だったり体調が悪い時も別室にてゆっくり休める配慮がなされている。必要に応じて学習室や職員室にて個別の学習を認めている。 | 今後も継続して行く。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | 0 | 朝のミーティングで前日の児童の様子について振り返りを行っている。次月の計画や目標も話合っている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | 各児童の情報等を鍵付き書庫にファイリングし共有している。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | 朝のミーティングで職員が思っている事や意見ができ意見を取り入れる事が出来ている。朝礼やミーティング記録を残してそれぞれ確認している。朝のミーティングがあるのでその際に意見を述べたり相談したりする事が出来るのでそれが業務改善に繋がっていると思う。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | 毎年、療育アドバイザーに来所して貰い業務改善に繋げている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | 月に1回以上研修を行っており職員の資質の向上や研修内容を業務に活かしている。希望があれば外部の研修も受けている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | 作成しホームページや玄関、保護者マイページに掲載している。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 0 | 児童、保護者の両方から聞き取りを行い作成している。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | アセスメント表などを全職員把握、確認できるようになっている。職員も支援内容をきちんと把握して最善を考慮している。全職員で1人1人の良い所、改善すべき所を書き出したり、モニタリング後は朝のミーティング等で共有されている。モニタリング情報はミーティングで共有され支援方針の確認をしている。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | 計画を職員同士共有し支援を行っている。各児童の情報や計画はファイリングされ共有している。 | 今後も継続して行く。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | 確認している。 | 今後も継続して行く。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---------------------------|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | 子ども1人1人に合った支援内容を作成する事が出来ている。目標に対してどのような支援を行って行くか具体的に記入されているので支援しやすい。職員間でチェックや情報共有を行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | ミーティングで職員と話し合い内容を決めている。活動内容の意見を出し合いそれぞれ相談しながら出来ている。必要があれば相談をしチームで行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 子ども達が楽しめるか、役に立つのか等を考え内容を考えている。固定化しないように案を出し合って工夫している。それぞれの意見が言いやすいので活動内容も毎回違う事を提供できている。脳を使う活動、体を使う活動などを交互に行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | 保護者の方がアセスメント表に書いて下さったことやモニタリングで話して下さった事を踏まえ内容を考え活動出来ている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | 朝のミーティングで振り返りや意見を共有する事が出来ている。支援前にはミーティング等で話し合い声を掛けながら連携を図り支援を行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 2 | 時間の関係上、次の日の朝に振り返りを行っている。支援終了後にも支援中に気になった児童が居た場合には情報を共有している。1人1人記録を書く際にその日の気になった点を話し共有している | 支援終了後に行えるよう業務効率を向上して行きたい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | 支援終了後、個人の記録、ケア記録はその日に行い記録し支援の検証、改善に繋げている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | 更新前に職員が前回の計画を見て意見を出し合っている。更新の前月にモニタリングを行い定期的に見直しがされている。ケア記録を通じて行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 7 | 0 | 状況に応じて行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | 0 | 児童に対して声掛けを行いながら自己決定を促している。宿題をする、しない、おやつを食べる、食べない等それぞれ自分の意志で決めている。問いかけを行い、意見を尊重している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | | 今後も継続して行く。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | 0 | 関係機関と連携して必要に応じて情報共有を行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | 0 | 送迎時や電話、連携時に適切に行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 3 | モニタリングを通じて行っている。事業所との情報共有は出来ているが、保育園、幼稚園とは情報共有ができていなかった。 | 今後も継続して行く。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 3 | 対象者が居ない・移行した利用者が未だ居ない為評価できない。 | 今後も継続して行く。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 7 | 0 | 研修に参加している。研修に参加出来ている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 7 | 感染症のおそれもあり交流が出来ていない。流行病もあつた為行えていない。 | 必要があれば今後行って行きたい。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | 0 | 北部地域自立支援協議会子ども支援部会に参加している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | 送迎時に説明をし質問などがあつた場合は再度お伝えしている。利用時のサービス提供記録を見て貰っている。保護者記録やモニタリングを通して出来ている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 0 | 毎年、講演会・個別相談会を開催している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | 契約時、見学時に説明をし質問などがあつた場合は再度伝えている。 | 今後も継続して行く。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | 面談を行い確認する機会がある。モニタリング等実施して児童家族の意向を確認している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | 支援内容を直接説明し確認を行ってもらっている。モニタリングや面談をし同意を得ている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | 面談や電話（LINE）等で適切に相談に応じている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | 感染症流行もあり行う事が出来ていない | 今後、全保護者が参加できる催しを行い父兄同士の交流の場を設けて行きたいと考えている。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | 苦情があった場合施設関係なく全職員集まり共有し再発防止に努めている。クレーム対応、記録、マニュアルを各自職員が把握し対応するようにしている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | 保護者様マイページにて毎月の行事を公開し、その都度記録にて写真を掲載し発信している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | 個人が特定されるものは施設内から出さず写真もその日の内に消去している。個人情報は外部に漏らさないよう職員に同意書に記入してもらっている。個人ファイル等、個人情報が掲載されている書類は鍵付きの書庫にて保管し十分留意している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | その日の流れを毎日ホワイトボードに書いている。相手に伝わりやすい方法で情報伝達を行っている。メモに書いて視覚的に見て分かるように伝えるなど工夫している。 | 今後も継続して行く。 |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 3 | 招くなどの交流はないが挨拶をしコミュニケーションを取っている。農園作業では地域の方の指導の下交流を行っている。 | 地域と一体になり開かれた事業所として運営して行く。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | 0 | 玄関の前に各種マニュアルを設置しており誰でも閲覧できるようにしている。避難訓練も定期的に行っている。 | マニュアルは策定し設置しているが周知がまだまだ出来ていなかったで行って行く。訓練等も全利用者が参加出来ないのでお便り等で周知して行く。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | 0 | BCP訓練、感染症対策訓練、避難訓練、救命救急訓練も行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 7 | 0 | アセスメント表や保護者様の情報をミーティングで共有し把握する事が出来ている。 | 医師の指示書等があるか保護者様に確認して行く。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | 0 | おやつなどはその児童にあったおやつを用意している。アレルギーを持つ児童に関してはアセスメント表、保護者様からの情報を聞き対応している。 | 医師の指示書等があるか保護者様に確認して行く。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 0 | 定期的に研修を行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 0 | 交通安全マニュアル等を完備し利用者の家族とも連携が図られるようにされている。 | 保護者様への周知、説明を行って行く。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | ヒヤリハットについての内容を書き全職員把握出来るようになっている。ヒヤリハットがあった場合には記録して職場で共有し、再発防止に努めている。ヒヤッとしたことがあればその都度ヒヤリハット報告書を作成し必ず全職員が目を通すようにしミーティング等で対策を共有している。 | 今後も継続して行く。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | 0 | 虐待防止研修、虐待防止委員会を行っている。定期的に研修を行っている。 | 今後も継続して行く。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 0 | 虐待防止研修、身体拘束研修は年に1回以上行っている。虐待防止委員会、身体拘束委員会は年に1回以上行っている。 | 今後、身体拘束が必要な場合説明を十分に言い身体拘束同意書を頂くようにする。 | |